

## 新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究

秋田中央保健所長 伊藤善信

【研究要旨】平成17年度保健所研修受入保健所に対し、アンケート調査を実施して、研修期間、研修医受入数、研修組織、研修教材の利用、研修項目などを把握した。また、現地調査や研修医に対するインタビュー調査を行うことにより、主体的な研修の実態が明らかになった。昨年に引き続き、研修指導者ワークショップを行って、指導医(者)を養成するとともに、新たに研修フォーラムを開催して現状報告と課題研究を行った。

### 1. 研究目的

平成16年度事業では、医師臨床「地域保健・医療」の準備状況について把握するとともに、研修指導者の養成、標準的な研修ノートの活用評価、研修医のニーズ調査などを行った。17年度は、医師臨床研修「地域保健・医療」に関する多方面からの実態調査、研修指導者の継続的な養成、「地域保健・医療」研修の方策と課題の検討を行うことを目的とした。

### 2. 研究方法

新医師臨床研修「地域保健・医療」研究班を組織し、「医師臨床研修(保健所研修)実施状況調査」、「地域保健・医療ワークショップの開催と効果的なプログラムの開発」、「新医師研修地域保健フォーラムの開催」、「地域保健・医療における保健所での教材に関する実態調査と評価」について研究を行った。

### 3. 結果と考察

平成17年度より「地域・医療」研修が全国352の保健所で実施となった。アンケート調査では、1保健所当たり平均8.3人の研修医を受け入れていた。指導医(者)は、所長・その他の医師で6割を占めていたが、保健師、事務職も多かった。指導医(者)研修会の対象者を広げる必要がある。研修期間は4週間が半数を占め、2週間、1週間と続くが、研修期間が短くてもオーダーメイドのプログラムやバラエティーに富む方略、主体的参加を多くするなど、創意工夫を凝らしていた。研修医受入保健所の事例調査では、「多くの関係機関の協力を得て実施」、「保健所全体で研修医を受入」、「課題についてまとめと発表を行う」など意欲的な研修が見られたが、アンケート調査では、研修に対する所内組織の設置が半数に留まっていた。

### 4. 今後の計画

- ・保健所での「地域保健」研修の現状と課題把握(保健所研修の企画とコーディネート)
- ・研修医による「地域保健・医療」保健所研修の評価、
- ・教材・研修方法を含めた保健所研修の事例調査
- ・望ましい「地域保健研修」の提言